

レーニン通り

道は人間見たいです。名前もお顔も付いています。朝に忙しくて、晩に静かで、祭日に目出度い格好でおしゃれです。レーニン通りはサハリン州の首都であるユジノ・サハリンスク市のメインストリートです。全体の町を通る一番長くて、一番忙しくて一番広くて、一番きれいな道であります。

この道の過去を思い出しながらレーニン通りを歩きましょう。そして、現代を見ながら、道の未来を考えましょう。

1945年です。ユジノサハリンスクにはまだ日本の豊原という名前が付いています。この中心の道は大通りと呼ばれています。意味はメインストリートです。小屋に囲まれた短い砂利道はあの時ソ連の軍人の目で見られました。その年の秋にまだ軍隊の衣装を着替えてない人々は町の道に新しい名前を付けようとする目的で民間局の建物で集まりました。町のメインストリートにレーニンの名前を付ける事にしました。

あの時からレーニン通りは想像出来ないほど変わってきました。1950年に倒されたぼろぼろの住宅地域の場所で産業の中心地の建設が始まりました。石炭がらブロックの工場、発電所、アルコール工場、皮靴製造工場が建てられました。

1961年にユジノサハリンスキーソブホーズ国営農場より鶏肉鶏卵工場が分立しました。現代オストロブナーヤ鶏肉鶏卵工場の地域は村に広がっています。この村からレーニン通りが始まります。1950年代の終わりまでに郊外が町といっしょになりました。前のウラジミロフカ村の中心で食堂又は家具工場が建設されました。皮靴製造工場も現在前と全然違います。ゴム靴工場も皮靴製造工場と一生になって、再建されました。以前、ゴム及び皮靴製造工場は町の中心でしたが、現代この工場から北の産業地域の境が始まります。前の中心から跡も残っていません。こちらは現代の教師資格向上研修会の建物がある場所に1946－1947年代にサハリン州の民間局の建物がありました。

1948－1951年代にレーニン通りでは鉄道社員よう2階マンションが建てられました。最初の石炭がらブロックで出来た3階マンションが町故郷の線となっていました。南境目は第1技術専門学校（以前鉄道専門学校）から始まり、ポベダ通りで終わっていました。1984年に第1番技術専門学校が第3番プロフェッショナル専門学校に改革されました。2005年に第3番プロフェッショナル専門学校は解消されました。現代この建物の中には子供活動クラブがあります。

町の南郊外地域は鉄道会社及び石炭採掘会社に建設されました。1951年この地域の中（現代ポグラニーチナヤ通り）第16番学校が建設されました。

1950年代の最後の半分はユジノサハリンスク市の必要な設備を設定する期間でした。木材の歩道が設定されました。それに、砂利道にアスファルトをかけました。道に沿って木が植えられました。

1955年にポリシャヤ・エラーニ村が町の一部になり、空港までの道の建設が始まりました。

あの時レーニン通りはビジネス及び正式な生活の中心ではなかったです。文化を楽しめる場所もありました。市民はソブキノー映画館で映画を見ることができましたし、劇場の演劇も楽しむことができました。1954年に劇場にチェホフ名前が付けられました。1964年の10月にチェホフ劇場は新しく出来た建物に移動しました。その建物の住所はコムニスチーチャスキー通りの45番です。

1950年代の初めに劇場とレーニン通りの間にあったぼろぼろの小屋が倒され、劇場の広場が設定されました。祭日にこちらで市民が集まり、遊んでいました。現代、あの時の劇場があった所には小さい公園が設置されています。この公園の中にはチェホフ記念碑があります。

高いいすの上に座っているチェホフ作家はこの記念碑を通る市民を見送っているみたいです。

時間が立ちました。町もきれいになってきました。町の一部であるレーニン通りのメインストリートもきれいになってきました。民主用の地域では4階のマンションが建られててきました。そのマンションの1階はお店や喫茶店などとして使用されてていました。町の一番最初に建てられた5階建物には現代アエロフロート航空会社が位置しています。レーニン通りの南の部分ではユジノサハリンスク市立教育大学（現代サハリン国立総合大学）のキャンパスが建てられました。

一番最初に建設された4階の建物にはユジノサハリンスク市立中央図書館が位置されています。図書館はこの建物へ1957年に移動しました。現代でもこの建物に位置しています。我々の図書館は毎年6千人の読者にサービスを与えています。図書館の倉庫には書物が1万5千冊以上あります。

レーニン通りを町を中心の方へ歩くとレーニン広場に当たります。

祭日に市民はこの広場で集まって、時間を楽しく過ごします。お正月の期間にレーニン広場は鮮やかなクリスマスツリーで飾ってあります。

レーニン通りで歴史的な古い建物が保存されています。

町の一番古くてきれいな建物の一つは州立美術館です。美術館の建物は1930年代の初めに建てられ、もともと北海道拓殖銀行のものでした。1970-1980年代に再建されまして、美術館として使用されるようになりました。

“サハリン・デパート”、“ソブレメンニク” 商売店、郵便局、ダリネボストニックホテル、鉄道局などの建物はソ連のカラバノフ建築功労者に設計されました。もちろん現代の立派な建物のなかでこの古い建物がもう立派に見えませんが、今日でもこの古い建物はサハリンの歴史の証人又は歴史の証明みたいです。

外から見るとレーニン通りは蟻塚に似ているかもしれません。人間でも忙しくて、車でも混んでいます。夜が来たら、人も少なくなりますし、家窓の明かりも消えますし、交通信号も疲れているみたいです。

夜になると、レーニン通りは静かになります。でも、朝になったら、道はまた毎日日常の生活に戻ります。